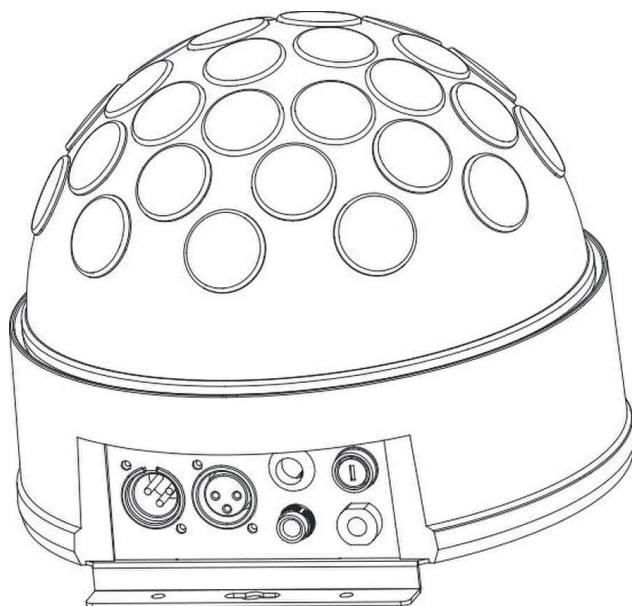


ACME®

ASTRO
DMX RGBW *By Acme*



LED-256D RGBW II

取り扱い説明書

目次

- 1.安全ガイド
- 2.製品の技術的仕様
- 3.本体の設置
- 4.本体の操作方法
- 5.DMX512 チャンネル表
- 6.DMX512 の接続
- 7.故障処理
- 8.本体メンテナンス

1.安全ガイド



警告 本製品をご使用になる前に、この説明書を必ずよくお読みください。単なる使用方法だけでなく、より永く安全にお使いいただくための諸注意事項が記載されています。

- 後で参照するために、この説明書は常に本体に近い場所に保管しておいてください。もしも本製品を他に人に譲る場合は、必ずこの説明書を付属してください。
- 運送中の等で本体が破損している恐れがあります。最初に本体を開封する時には特に注意し、傷やダメージ等がないか確認してください。
- 本製品は輸入品ですが、日本国内の電源事情（100V 50/60Hz）に合わせて製作されています。他の電圧等で使用しないでください。
- 本製品をディマー等の調光装置に接続しないでください。故障の原因となります。
- 本製品の電源コードは、アース端子が別に出ています。感電を逃げるために、これらのアース端子をしっかり接続してください。
- 本製品は屋内使用専用モデルです。また、屋内においても湿度の高い場所等では使用しないでください。
- 本製品は発熱します。設置する場合には少なくとも天井面や壁面等から 50 cm 以上離してご使用ください。また、設置する際ファンの排気口がふさがれていないかどうかをよくご確認ください。
- メンテナンスや各種クリーニングを行う場合は、必ず作業の前に電源を切ってください。
- 本製品は発熱します。設置場所の付近に燃えやすいものがないかどうか、必ず確認してください。
- 本製品を壁面や天井に取り付ける際は、必ず指定の安全ワイヤーをご使用ください。
- 本製品の最大環境温度は 40℃ です。設置前に温度環境を計り、これ以下温度の場所に設置してください。
- 本体の操作中に動作がおかしいと感じたら、すぐ電源を切り、販売店にご連絡ください。本体にはユーザー自身でサポートできる部品は一切ありません。ユーザー自身で修理を試しないでください。
- 電源コード等を使用中にいたずらに触ることはおやめてください。感電の危険性があります。
- 本体のハウジングにダメージがある場合は、本体を使用しないでください。
- 本体の光源には高輝度 LED を使用しています。直接見ることはおやめてください。目や脳に対して重大なダメージを与える恐れがあります。

【危険】

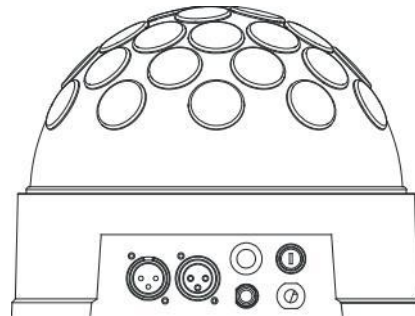
- 感電や火災等の重大事故を避けるため、本製品を雨や多湿の環境には絶対に設置しないでください。
- 本体のハウジング、内部のレンズ等にダメージが見られる場合は交換を申し出てください。

【注意】

本製品にはユーザー自身でサービスパーツは一切含まれていません。ご自身で修理を試みる事は絶対におやめいただき、ご購入販売店に連絡ください。

2. 技術仕様

- ◎入力電源：AC100V～240V、50/60Hz
- ◎定格消費電力：27W
- ◎LED 光源：1 × 10W CREE Quad-Color LED
- ◎重量：1.8KG
- ◎サイズ：220×214×180mm



3. 本体の設置

本体の設置について、ゆーざーであるあなたが十分な知識と軽減をもっていないと判断した場合は無理せずなるべく専門業者に依頼するなどしてください。無理に自分で行うと落下等の危険があります。

【設置工事業者へ】

本製品は左右のブラケットにある穴を使います。天井面や壁面に直接設置できるほか、舞台用クランプ等を使ってバトンなどに設置します。設置の際には本体が完全に固定されているか、または振動等により落下しないかどうかをよく確かめてください。

クランプ等を使用する際には本体重量の 10 倍以上の耐荷重があるものを、また安全ワイヤーは 12 倍以上の耐荷重が必要です。本体の安全性を確保するために必ずお守りください。

また、設置する際には設置場所の下側に人がいないかどうか十分確認してから行ってください。

4. 本体の操作方法

本体は、以下の 3 つの方法で操作することができます。

1. 通常の DMX コンソール経由での動作
2. プリプログラム機能を使ってマスター/スレーブ（親子）動作
3. イージーコントローラ（CA-8 別売り）による動作

①通常の DMX コンソール経由での操作

ここではつうじょうの DMX コンソールを使った操作方法について説明します。

DMX という信号体系を使った機材は、すべての機材に対し個別の番地（アドレス）を設定することにより、制御するコンソール側からそれらの機材全て認識でき、この認識があって初めて操作できることになります。

このモードではそれぞれの灯体の DMX アドレスを 1 から 512 までの間で個別に設定しなければなりません。

アドレスの設定には本体のディップスイッチを使用します。ディップスイッチ【1】～【9】は二進法によるもので、これらを使用して 1～512 の任意のアドレスを設定することができます。また、ディップスイッチ【10】は 2 ライトショーを選択するために使います。

ディップスイッチ番号	#1	#2	#3	#4	#5	#6	#7	#8	#9	#10
対応する値	1	2	4	8	16	32	64	128	256	2 ライトショー

1) 1 CH モードの場合

Unit	Dip switches setting
1	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
4	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

スタートアドレス 1=ディップスイッチ [1]を ON(=1) スタートアドレス 2=ディップスイッチ [2]を ON(=4) スタートアドレス 3=ディップスイッチ [1], [2]を ON(=1+2=3) スタートアドレス 4=ディップスイッチ [3]を ON(=4)

2) 3 CH モードの場合

Unit	Dip switches setting
1	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
2	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
3	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10
4	ON 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

スタートアドレス 1=ディップスイッチ [1]を ON(=1) スタートアドレス 4=ディップスイッチ [3]を ON(=4) スタートアドレス 7=ディップスイッチ [1], [2], [3]を ON(=1+2+4=7) スタートアドレス 10=ディップスイッチ [2], [4]を ON(=2+8=10)

②プリプログラム機能を使ったマスター/スレーブ (親子) 動作

この動作は DMX コンソールを必要とせず、すぐに何らかのショーを行いたい場合に大変便利です。複数の本製品をマスター/スレーブとして接続した場合、自動的に最初の灯体は「マスター」機となり、そのほかの灯体は「スレーブ」(子機)として自動的にマスター機と同じ動作をします。最大接続数に制限はありません。

【注意】 マスター/スレーブ動作の際は、マスター及びスレーブ機に対してそれぞれ決まった DMX アドレスを事前に設定しておく必要があります。(マスター :最初の 1 台目 DMX アドレスを 001 にする。スレーブ : 2 台目以降 DMX アドレスは 001 以外であること)

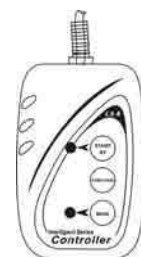
・注目・マスター機のディップスイッチ「2」は、特別な機能を持っています。

*ディップスイッチ「2」が OFF の位置にある場合=灯体は内蔵マイクロフォンで音楽のビートに合わせて動作します。

*ディップスイッチ「2」が ON の位置にある場合=本体は「オートモード」になります。この時はさらに「3」～「6」のディップスイッチを使用します。ディップスイッチ「3」は回転の方向を変える ;ディップスイッチ「4」～「6」は回転のスピードをそれぞれ変えます。また、マスター/スレーブ動作は DMX 信号を受信しているときには無効になりますのでご注意ください。

③イーजीコントローラ (CA-8 別売り) による動作

このモードでは別売オプションである CA-8 イージーコントローラを使用します。このコントローラはマスター/スレーブモードでのみ使用します。MENU ボタンを押すと、接続されているすべての灯体が一括して動作を始めます。



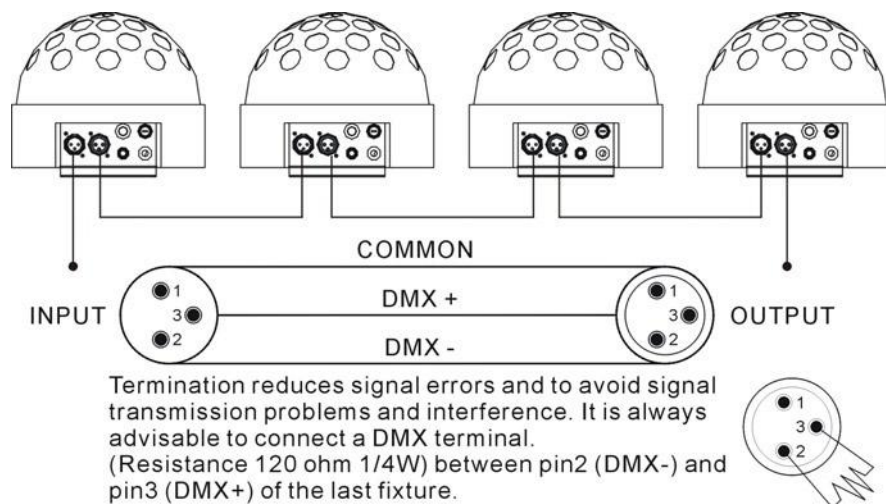
STANDBY	すべての灯体をブラックアウトさせます。	
FUNCTION	ストロボ機能 1.同調ストロボ 2.ツールイトストロボ 3.サウンドストロボ	ローテーションスピード (1~8)
MODE	ストロボ (LED 消灯)	チェイス (LED 点灯)

5. DMX512 チャンネル表 (英語表記)

1-CH mode	3-CH mode		
Ch1	Ch1	Ch2	Ch3
Rotation	Dimmer/Strobe	Color	Rotation
250-255 Sound Active	248-255 OPEN	238-255 Color 15	250-255 Sound active
Fast	Slow	221-237 Color 14	246-249 Stop
140-249	200-247	204-220 Color 13	Fast
Slow	187-203 Color 12	170-186 Color 11	135-245
125-139 Stop	153-169 Color 10	136-152 Color 09	Slow
15-124	Fast	119-135 Color 08	121-134 Stop
Slow	100%	102-118 Color 07	Slow
15-124	8-199	085-101 Color 06	10-120
Fast	0%	068-084 Color 05	Fast
0-14 Blackout	0-7 CLOSED	051-067 Color 04	0-9 Stop
		034-050 Color 03	
		017-033 Color 02	
		000-016 Color 01	

6. DMX512 の接続

DMX512 とは 1990 年に制定された USITT 規格バージョン 2 のデジタル照明制御共通プロトコルで、現在最も普及している制御規格です。それぞれの灯体二対して「アドレス」を設定することにより、最大 512 チャンネル分まで使用することができます。(512 チャンネルを総称して「ユニバース」と呼ぶこともあります)



1.お使いの DMX コンソールが 5 ピン XLR である場合は 5 ピンから 3 ピンの変換ケーブルを使用するか、あるいは製作しなければなりません。ピン配列は XLR 3 品と同様で、ピン 4/5 番は使用しません。

2.本製品を含むすべての灯体はデジチェーン接続（渡り接続）として接続しますが、最後尾の灯体には、必ず「ターミネーター」と呼ばれる終端抵抗を接続しなければなりません。ターミネーターは XLR 端子の 2 番ピンと 3 番ピンとの間に $120\ \Omega$ $1/4\ W$ の抵抗を取り付けます。本製品はオプションでも販売しております。

3.DMX ケーブルの接続は常に、必ず「デジチェーン」接続でなければなりません。Y ケーブルなど、分岐ケーブルを使って接続することは認められません。（予期せぬ動作を引き起こしたりメイン基板上の信号の送受信部にダメージを与えます）。もしも分岐が必要であれば必ず光アイソレート出力形の DMX スプリッターと呼ばれる装置（別売り）を必ずご使用ください。

本製品の DMX 信号送受信は、途中で電源が切れるとバイパスする仕組みになっています。

7. 故障処理

以下に記述する事項は、運用中によくある症状とその解決方法について記述したものです。

◎灯体が動かない、光が出ない、またファンが動かない場合

1. 正しく電源が投入されているかどうかを確認します。電源コネクタがきちんと接続されているかどうか、またメインフューズが切れていないかどうかチェックしてください。
2. コンセント側の電圧を測定し、100V 程度あるかどうか確認してください。90V 程度ですと動作しないことがあります。
3. もしそれでも電源が入らない場合は、電源ケーブルを交換してみてください。電源ケーブルはお近くの PC ショップやホームセンター等で購入できます。

◎DMX コンソールからの操作に反応しない場合

1. 本体の DMX 受信ランプが点灯しているかどうかを確認します。点灯している場合は DMX 信号を受信していますが、そうでない場合はケーブルの接続に問題があると考えます。
2. もしも DMX 受信ランプが点灯していながら動作しない場合は、DMX アドレスの設定が間違っている可能性があります。設定を再度確認してください。
3. さらに、お使いの DMX ケーブルの信号が反転している可能性があります。ケーブルチ

ェッカー等を使って、正しいピン接続かどうかを確認してください。

4. コンソールを換えてチェックしてみてください。また、問題のある灯体をスキップさせて正しい動作をするかどうかを確かめてください。

5. DMX ケーブルの設置状況を確認します。高電圧電源などと一緒に配置すると、ノイズが DMX ケーブルに混入し正しく動作しない可能性が高いです。

◎イーザーコントローラーを使ったときにある灯体だけが動かない場合

おおよその問題は DMX ケーブルにあります。それぞれの灯体のマスター /スレーブランプが点灯していることを確かめましょう。

◎音楽同調（サウンドアクティブ機能）に反応しない場合

1. サウンドアクティブ機能は DMX モードでは反応しません。DMX 信号受信ランプが点灯していないかどうかを確認します。

2. 本体部のマイクロフォンを軽くたたき、動作を確認します。

◎DMX チャンネルのうち 1 つが正しく動作しない場合

1. この場合は修理対応となるケースが多いので、お買い上げいただいた販売店あるいは弊社技術部へのご連絡が必要です

2. 内部の基盤に異常を来たしていることが考えられます。

8. 本体メンテナンス

本体を使う際、特に気をつけなければならないのはメンテナンスです。メンテナンスを怠った灯体は製品寿命を著しく縮めてしまいます。

本製品は本体冷却に DC ファンを使ったもので、この部分が適切に動作し、エアブローがなされないと各所に著しいダメージを与えます。さらに本製品は光学製品です。1ヶ月に1度程度、ファンに対してはブロアーもしくは掃除機等を使って埃を外から取り除くようにしてください。また、レンズ部は以下の要領に従ってクリーニングします。

●市販のガラスクリーナーとウェスを使います。

●本体カバーを開け、レンズの外側と内側にある汚れをていねいにふき取ります。

●このとき、クリーナーがほかの電子パーツ等にかからないよう注意してください。あらかじめウェスに少しだけ吹き付けてから拭くようにします。

Declaration of Conformity

We declare that our products (lighting equipments) comply with the following specification and bears CE mark in accordance with the provision of the Electromagnetic Compatibility (EMC) Directive 89/336/EEC.

EN55103-1: 2009 ; EN55103-2: 2009; EN62471: 2008;
EN61000-3-2: 2006 + A1:2009 + A2:2009; EN61000-3-3: 2008.

&

Harmonized Standard

EN60598-2:2015; EN60598-1:2008+ A11: 2009 EN 62471:2008; EN
62493: 2010

Safety of household and similar electrical appliances
Part 1: General requirements

Innovation, Quality, Performance